

こちらの募集要項は閲覧用です。
出願にあたってはホームページ
から募集要項をご請求ください。

平成24年度

大学院看護学研究科 看護学専攻修士課程 学生募集要項

期入学者選抜の出願資格審査受付期間を延長します。

平成23年11月1日(火)～12月16日(金) 郵送必着

学校法人 日本赤十字学園

日本赤十字秋田看護大学

日本赤十字秋田看護大学のアドミッション・ポリシー

教育理念

日本赤十字秋田看護大学大学院の教育理念は、「活動のあらゆる状況の中で、その人の生命と健康を守り、人間の尊厳を確保する働きをする」と謳う赤十字の理念のもと、あらゆる人々の健康に貢献することである。

教育目的

人道（Humanity）を基本的理念とする建学の精神に則り、広く精深な学識と、看護学の学術的・実践的研究を教授することにより、その奥義を究め、より高度な専門性を以て社会に貢献できる有意な人材を育成する。

本大学院は次のような入学者を受け入れます

- 1 人の尊厳を確保する倫理観を持ち、人の生活と健康に対し全人的な視点から問題提起のできる人
- 2 人のもつ健康問題に真摯に取り組み、研究を推進できる人
- 3 より卓越した専門的な知識と技能を持ち、さらなる看護と看護学の実践あるいは研究に対し向上心の旺盛な人
- 4 地球規模での健康問題を視野に入れ、他職種と協働した思考のできる人



目 次

入学者選抜

1. 募集課程	1
2. 募集人員	1
3. 修業年限	1
4. 募集分野	1
5. 入学者選抜日程	1
6. 出願資格及び要件	1
7. 個別出願資格審査	2
8. 事前相談(面談)	2
9. 出願手続き	2
10. 選抜方法	2
11. 入学試験会場	2
12. 入学試験時間割	3
13. 出願時提出書類	3
14. 合格者発表について	4
15. 入学手続について	4
16. その他	4

注意事項

1. 出願に関して	5
2. 受験に関して	5

交通案内	6
------	---

学生納付金	7
-------	---

奨学金制度	7
-------	---

長期履修制度	8
--------	---

教育方法の特例について	8
-------------	---

教育課程	9
------	---

1 教育課程の概要	9
2 教育課程及び履修方法	9
3 研究指導教員一覧	12

国の教育ローン	14
---------	----

日本赤十字学園プライバシーポリシー	15
-------------------	----

入 学 者 選 抜

1. 募 集 課 程	大学院看護学研究科看護学専攻修士課程	
2. 募 集 人 員	看護学研究科 修士課程 12名 (一般選抜 社会人特別選抜 赤十字推薦選抜) 期及び 期により募集しますが、分野によっては 期に募集しない場合もあります。募集人員には社会人を含みます。この場合の社会人とは、官公庁、教育機関、病院、企業などの職員として勤務しており、入学後もその身分を保持する者を行い、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用して昼夜開講制を実施し、社会人の修学の便宜を図ります。	
3. 修 業 年 限	(1) 標準修業年限 2年間 (2) 修業年限 3年間(長期履修学生) 職業を有しているなどの事情により標準修業年限(2年間)での履修が困難な学生を対象として、2年間のカリキュラムを3年間で学び、学費は2年間分を3年間で納入するものです。	
4. 募 集 分 野	基盤看護学分野	感染制御学 食看護学
	がん看護学分野	がん看護学：がん看護専門看護師(CNS)教育を併設
	健康生活支援看護学分野	小児看護学
		成人老年看護学
		地域看護学
助産学分野	助産学 助産師国家試験の受験に必要な単位を取得する授業科目を選択することができます。	
5. 入学者選抜日程		
I 期	出願資格審査受付期間	平成23年 7月11日(月) ~ 7月15日(金) 郵送必着
	事前相談受付期間	平成23年 8月15日(月) ~ 8月25日(木)
	出願書類受付期間	平成23年 8月26日(金) ~ 9月 1日(木) 郵送必着
	入学試験日	平成23年 9月10日(土)
	合格者発表	平成23年 9月20日(火) 11:00 本学正面玄関に掲示
	入学手続き期間	平成23年 9月20日(火) ~ 9月26日(月) 消印有効
期	出願資格審査受付期間	平成23年11月 1日(火) ~ 12月16日(金) 郵送必着
	事前相談受付期間	平成23年12月19日(月) ~ 平成24年 1月 6日(金)
	出願書類受付期間	平成24年 1月10日(火) ~ 1月19日(木) 郵送必着
	入学試験日	平成24年 1月28日(土)
	合格者発表	平成24年 2月 7日(火) 11:00 本学正面玄関に掲示
	入学手続き期間	平成24年 2月 7日(火) ~ 2月16日(木) 消印有効

<p>6 . 出願資格及び要件</p>	<p>次の(1)～(7)のいずれかに該当する者としてします。 ただし、がん看護CNS教育を選択する者は3年以上の看護師の実務経験が必要です。また、助産師国家試験の受験に必要な単位が取得できる授業科目を選択する者は、看護師資格を有することとし、大学院合格後であっても看護師国家試験に不合格となった場合は大学院の合格を取り消すものとします。</p> <p>(1) 大学を卒業した者もしくは平成23年度卒業見込みの者。 (2) 学校教育法の定めにより、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成24年3月31日までに授与見込みの者 (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者 (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 (5) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号) (6) 学校教育法第102条第2項により他の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者 (7) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成24年3月31日までに22才に達する者</p>
<p>7 . 個別出願資格審査</p>	<p>上記6 . の出願資格(6)および(7)により出願を希望する者は、出願資格審査受付期間中に、出願資格の認定申請を行ってください。</p> <p>(1) 提出書類 「出願資格認定申請書」 本学所定の用紙を使用し、必要事項を記入してください。 「最終学歴校の卒業証明書及び成績証明書」 「返信用封筒(長3)」240円切手を貼付</p> <p>(2) 提出手続 「簡易書留速達」郵便で本学学務課へ送付してください。 〒010-1493 秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢17番地3 日本赤十字秋田看護大学事務局学務課 封筒の大きさは問いませんが、封筒宛名の下部にかならず 「出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。</p> <p>(3) 審査方法 申請者から提出された書類により審査します。 出願資格有りとして認定された者は、かならず事前相談期間に研究指導教員へ事前相談を行ったのち、出願書類受付期間内に認定書の写しを添付して出願してください。</p>
<p>8 . 事前相談(面談)</p>	<p>上記6 . の出願資格(1)～(4)により出願を希望する者、及び上記7 . の審査結果で出願資格有りとして認定された者は、研究計画書を作成のうえ、事前相談期間中までに志望する専攻領域の研究指導教員と、入学後の研究・教育活動について相談を行ってください。</p>
<p>9 . 出 願 手 続 き</p>	<p>出願期間内に郵送により出願書類を一括して送付してください。必ず出願書類に添付の封筒により、「簡易書留」の「速達」で送付してください。(出願期間最終日の当日必着)</p>
<p>10 . 選 抜 方 法</p>	<p>筆記試験、面接および書類審査等を総合して合格者を決定します。</p>
<p>11 . 入 学 試 験 会 場</p>	<p>本学(日本赤十字秋田看護大学)</p>

12. 入学試験時間割	外国語（英語）	9:00～10:00	「社会人特別選抜」及び「赤十字推薦選抜」で出願の場合「外国語（英語）」の試験は免除されます。
	小論文	10:15～11:15	
	専門科目	11:30～12:30	
	（昼食）	12:30～13:30	
	面接	13:30～	
13. 出願時提出書類	できるだけ順番に重ねて提出してください。		
入学願書	本学所定の用紙を使用してください。		
履歴書	写真2枚（出願日前3ヶ月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のもの、縦4cm×横3cm）を入学願書、写真票に貼付してください		
研究計画書	（カラー・白黒どちらでも可）。		
受験票	受験票（はがき）の表に、送り先、あて名を明記し320円分の切手（速達料を含む）を貼付してください。		
写真票	写真票の裏面に検定料振込書（願書貼付用）を貼付してください。		
検定料振込書 （願書貼付用）	所定の振込依頼用紙に必要事項を記入し、 検定料 30,000円 を添えて、切り離さずに銀行（金融機関）窓口で納付してください。 納付時には「検定料振込書（願書貼付用）」を銀行から受けとり、写真票の裏面に全面糊付けをして貼付し、出願してください。 「検定料領収書」は各自で大切に保管してください。 （注）納付した検定料は返還しません。		
証明書 証明書は原則として3ヶ月以内に作成されたものを提出してください。	<p>(1) 大学の卒業証明書又は卒業見込証明書、及び成績証明書</p> <p>(2) 6. の出願資格（2）による出願者は、次の証明書。 ア 既に学位授与機構により学位を授与された者は、学位授与証明書並びに学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書 イ 既に学位授与機構により認定修了を申請している者は、学位授与申請受理証明書並びに学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書</p> <p>(3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者は、修了証明書及び成績証明書</p> <p>(4) 6. の出願資格の（5）（6）（7）による出願者は、最終教育機関の卒業証明書又は卒業見込み証明書、及び成績証明書 大学以外の最終教育機関の卒業証明書又は卒業見込証明書、及び成績証明書も提出してください。</p> <p>(5) 7. の個別出願資格審査で認定された者は、認定書の写し。</p> <p>(6) 社会人特別選抜及び赤十字推薦選抜は「受験及び修学承諾書」</p> <p>(7) 免許証のコピー（A4縮小版）の提出 助産学分野において助産師国家試験の受験に必要な単位を取得できる授業科目を選択する者は、看護師免許証のコピー。 平成23年度看護師国家試験受験予定者は、提出不要です。*</p>		
宛て名シール	所定の宛て名シールに出願者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの。		

14. 合格者発表について

合格者の受験番号を本学正面玄関に掲示します。電話等による問い合わせには応じません。受験生の利便を図るため、あわせて本学ホームページに掲示します。

パソコン用ホームページ：<http://www.rcakita.ac.jp/>

携帯電話用ホームページ：<http://www.rcakita.ac.jp/i/>

15. 入学手続について

入学試験合格者には、「合格通知書」及び「入学手続き関係書類等」を送付します。次により入学手続きを行ってください。

(1) 提出書類 合格通知書に同封しますので、記載の上、提出してください。

身元保証書 入学金納付書(300,000円)

〔注〕 納付した入学金は返還しません。

(2) 入学手続書類の提出は、郵送に限ります。

入学手続書類は、締切当日の消印有効とします。

(3) 入学手続き期間内に「入学手続」を完了しないときは、入学試験合格者としての権利を失います。

16. その他

追加募集を行うことがあります。

実施の有無については、平成23年2月20日(月)以降にお問い合わせください。

日本赤十字秋田看護大学 事務局 学務課

電話(018)829-3759

注 意 事 項

1. 出願に関して

- (1) 出願書類の処理には日数がかかりますので、書類の準備・郵送等は早めに行ってください。
- (2) 願書類に不備のある場合は、受理できません。また、受理した出願書類の内容の変更は認めません。ただし、氏名・住所・電話番号に変更があった場合には入試係まで連絡してください。
- (3) 提出した出願書類は原則として記載内容の変更ができませんので、誤りや記入漏れのないように記入してください。記入は黒ボールペンを使用し、ていねいに記入してください。修正するときは、修正テープ等でいねいに消し、その上に記入してください。連絡先は、確実に連絡がとれる所を記入してください。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可の後でもこれを取り消します。
- (5) 身体に障害があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることが起こりうる出願者は、出願に先立ち、お問い合わせください。

2. 受験に関して

- (1) 受験票、筆記用具を持参してください。
- (2) 受験票は正面玄関で受付をしますので、あらかじめ受験票を用意して入場ください。万一、受験票を紛失、または忘れた場合は、試験場の入口で案内係に申し出て指示を受けてください。
- (3) 本学向かいの秋田赤十字病院に売店がありますが、試験終了まで試験棟以外への移動は認められませんので、試験時間内（待機時間等）に昼食等を買に行くことはできません。
- (4) 受験票の通信欄に本学からの連絡事項が記入されることがありますので、受験票が届いたら必ず確認してください。2日前までに受験票が届かない場合は直ちに問い合わせてください。
- (5) 試験開始15分前までに指定された試験室に入室し、必ず自分の受験番号と同じ番号の席に着いてください。試験室の案内は試験当日、大学入口に掲示します。
- (6) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。それを経過した後は、試験を受けることはできません。なお、事故などによる交通機関の遅れに伴う遅刻など、特別な事情による遅れについては受験を認めることがありますので、証明書等を持参し案内係に申し出て指示を受けてください。
- (7) 筆記用具(黒色の鉛筆(HB)シャープペンシル(HB)プラスチック製消しゴム)を持参してください。
- (8) 受験票の他に試験時間中に、机の上に置けるものは、筆記用具、時計、眼鏡、ティッシュペーパー（中身だけを取りだしたもの）だけです。時計は、時計表示機能のみのものとし、その他の機能が付随しているものおよび携帯電話等の時計表示は使用を認めません。
- (9) 筆記用具および時計類の貸し出しは一切行いません。
- (10) 英語の試験に関しては、英和辞書（医学英和は不可）の持ち込みを認めます。ただし、電子辞書の持ち込みは認めません。
- (11) 面接の順番は、試験日に発表します。受験番号順とは限りませんので帰りの交通機関等の予約については十分に配慮してください。
- (12) 試験当日は付き添い者控え室を学内に設けますが、学内の見学や立ち入りはできません。
- (13) 前日の宿泊施設や交通機関等についてのご不明な点は、学務課入試係までご連絡ください。
- (14) 校舎内は、事務室窓口取扱時間は入館できますが、必ず入館者受付にお立ち寄りください。なお試験前日より会場準備等のため、学内への立ち入りはいっさいできなくなります。
- (15) 当日は本学の駐車場を利用できます。構内では係員の指示にしたがってください。

交通案内

秋田駅からの交通機関

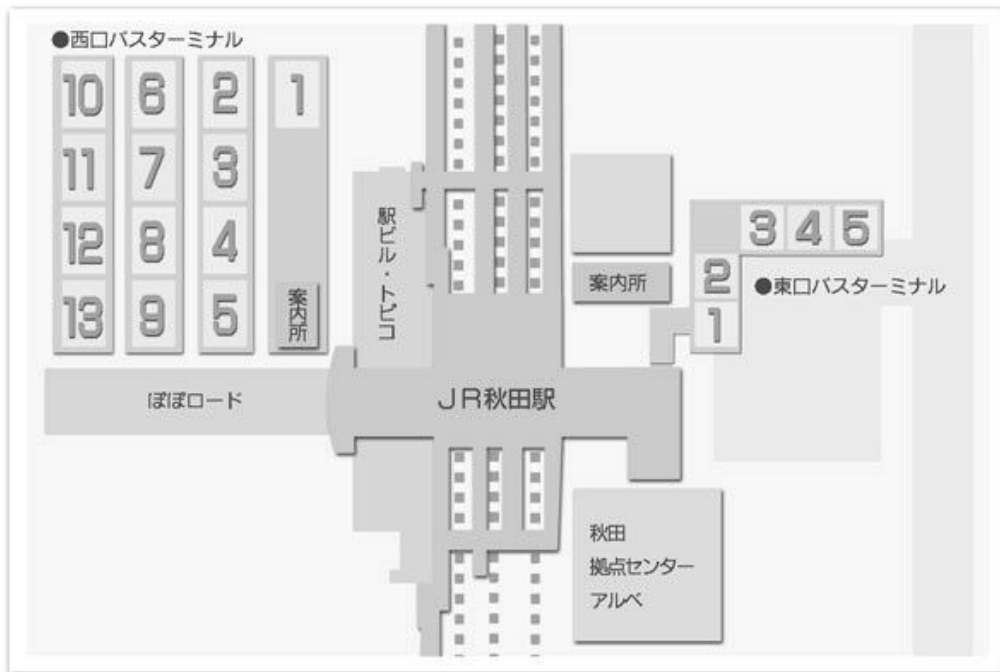
秋田中央交通バス <http://www.akita-chuoukotsu.co.jp/>

秋田駅東口のりば より 広面御所野線 320円
所要時間：15～20分程度

秋田駅西口のりば より 牛島経由日赤病院線 390円
所要時間：25～45分程度

いずれも「日赤病院前」下車

<秋田駅バスターミナル案内図>



タクシー 秋田駅東口より 所要時間：15分程度
秋田空港より 所要時間：40分程度

入学試験当日は、本学の駐車場を利用できます。
本学の周辺案内図は、裏表紙に掲載しています。

学 生 納 付 金

平成24年度 初年度納付金

入学金（入学手続き時に納付）	300,000円
----------------	----------

種 類	全 納 の 場 合	分 納 の 場 合	
		前 期（4月）	後 期（10月）
授 業 料	850,000円	425,000円	425,000円
維 持 運 営 費	200,000円	100,000円	100,000円
実 験 実 習 費	100,000円	50,000円	50,000円
助産師国家試験の受験に必要な単位が取得できる科目を選択する場合	300,000円	150,000円	150,000円
合 計	1,150,000円	575,000円	575,000円
助産師国家試験の受験に必要な単位が取得できる科目を選択する場合	1,350,000円	725,000円	725,000円

- (注) 1. 授業料の納付方法は全納（1年分を一括納付）、又は前期・後期分割納付のいずれかを選べますが、納付はすべて銀行振込となります。
2. 上記の他に、授業で使用するテキスト代、個人で使用する用具、在学中の災害傷害保険料、諸会費（学友会費等）、通学に要する交通費等の経費が必要となります。
3. 学生納付金に関するお問い合わせ先： 総務課経理係（018-829-3014）

奨 学 金 制 度

次の奨学金制度を利用することができます。
いずれも学業・人物ともに優れ、修学意欲を持ちながら、経済的理由により修学が困難であると認められる者の中から選考されます。

それぞれの奨学金の詳細については、それぞれの団体へお問い合わせください。

なお、本学における奨学生の募集・決定は、すべて4月入学後に実施するガイダンス以降に手続きを開始します。（日本学生支援機構の予約採用者を除く）

独立行政法人日本学生支援機構（第一種・第二種）

<http://www.jasso.go.jp/saiyou/daigakuin.html>

財団法人 日本赤十字社看護師同方会 奨学資金

秋田県看護職員修学資金

秋田県看護職員修学資金は、県内の看護職員（看護師、保健師、助産師、准看護師）の数・質の充実を目的として、将来看護職員を目指す学生に奨学金を貸与する制度です。私立大学院の場合は月額 200,000円を在学期間中（修業年限を限度）貸与します。

大学院修士課程在学中に貸与を受けた場合、修了後に秋田県内に看護職として就業する際には、病床数にかかわらず、県内の全ての病院が免除対象となります。

（但し申請時の選考順位により、貸与が受けられない場合もあります。）

長期履修制度

長期履修制度は、職業を有している等の理由により、標準の修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修するものです。

- (1) 申請資格 職業を有している者
 その他学長が特に必要と認められた者
- (2) 履修期間 3年
- (3) 申請方法 手続期間 入学手続き期間
 提出書類 長期履修申請書（所定様式） 在職証明書

納付金		金額			
		1年目	2年目	3年目	
入学金		300,000円			
授業料	全納の場合	850,000円	425,000円	425,000円	
	分納の場合	前期	425,000円	212,500円	212,500円
		後期	425,000円	212,500円	212,500円
維持運営費	全納の場合	200,000円	100,000円	100,000円	
	分納の場合	前期	100,000円	50,000円	50,000円
		後期	100,000円	50,000円	50,000円
実験実習費	全納の場合	100,000円	50,000円	50,000円	
	分納の場合	前期	50,000円	25,000円	25,000円
		後期	50,000円	25,000円	25,000円
助産師国家試験の受験に必要な単位が種々できる授業科目を選択する場合	全納の場合	300,000円	150,000円	150,000円	
	分納の場合	前期	150,000円	75,000円	75,000円
		後期	150,000円	75,000円	75,000円
合計		1,450,000円	575,000円	575,000円	
助産師国家試験の受験に必要な単位が取得できる授業科目を選択する場合		1,650,000円	675,000円	675,000円	

教育方法の特例について

入学後も在職のまま就学する者に対し、大学院設置基準第14条（教育方法の特例）を適用することができます。

適用が認められた場合には、毎学期、平日は昼間の授業に加えて夜間の授業を開講し、就学上の便宜を図ります。また、夏季及び冬季休業中も講義、演習、実習及び研究指導を行います。

適用を希望する者は、事前面談の際に、志願する専攻領域の研究指導教員にお伝えください。

【大学院設置基準 第14条（教育方法の特例）】

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

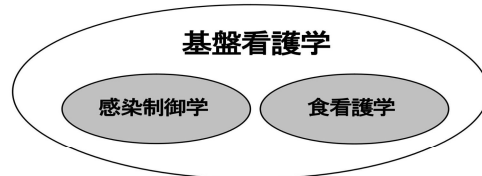
教 育 課 程

1 教育課程の概要

本大学院では、新たな看護と看護学を探究・創造し、人々にさらに高度な医療、看護を提供できる人材を育成するために、本地域での健康問題に鑑み、「がんと生活」「健全な次世代」を標榜し、関連する4分野を開講する。

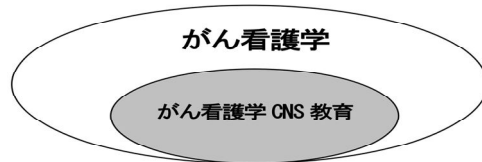
(1) 基盤看護学分野

人の日常生活の基礎である健康の保持・増進を考慮し、健康を外から脅かす感染を予防する**感染制御学**と、内の要因である「食べること」に関する**食看護学**で構成する。



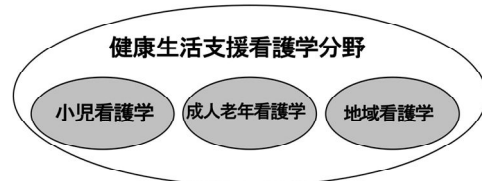
(2) がん看護学分野

がん患者とサバイバーの質の高いケアを創造する修士課程とともに、更に看護実践を積み重ね高度な実践能力を目指す CNS の教育を行う。



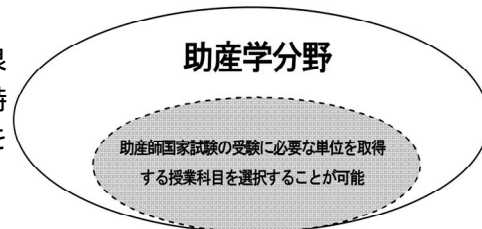
(3) 健康生活支援看護学分野

発達段階と生活の場の両側面から、主として健康危機に関する一次予防に着目し、**小児看護学**、**成人老年看護学**、**地域看護学**で構成する。



(4) 助産学分野

「健全な次世代」をテーマに、母子にとってより良い助産実践の方法を研究する一方、その能力を備え持つ修士助産師として、助産師国家試験受験資格教育を行う。



2 教育課程及び履修方法

共通科目 10 単位以上
専門科目 20 単位以上

履修を希望する専門分野については、基盤看護学分野、がん看護学分野、健康生活支援看護学分野、助産学分野のいずれかを選択し、専攻分野の科目の中から特論 4 単位、研究計画書作成を含む演習 4 単位及び特別研究 6 単位(以上、合計 14 単位)を含む 20 単位以上を選択する。

ただし、がん看護学分野において、がん看護 CNS 教育を選択する場合 26 単位以上、助産学分野において、助産師国家試験の受験に必要な単位が取得できる科目を選択する場合は 43 単位以上を選択する。

授業科目一覧

(平成23年度入学生に適用されているカリキュラム)

区分	分野	授業科目	単位数		時間数	履修年次及び単位数			
			必修	選択		1年次		2年次	
						前	後	前	後
専門科目	基盤看護学	感染制御学特論 (感染の基礎、消毒・滅菌)		2	30	2			
		感染制御学特論 (感染症の診断・治療)		2	30	2			
		感染制御学特論 (感染経路対策・感染症看護)		2	30		2		
		感染制御学演習 (感染管理・制御学演習)		2	60		2		
		食看護学特論 (食看護学の変遷)		2	30	2			
		食看護学特論 (食教育とヘルスプロモーションの変遷)		2	30	2			
		食看護学特論 (食看護の学際的、科学的アプローチ)		2	30		2		
	食看護学演習 (食看護の実践と効果測定・国際的アプローチ)		2	60		2			
	がん看護学	がん看護学特論 (がんの病態生理学)		2	30	2			
		がん看護学特論 (がんの看護理論)		2	30	2			
		がん看護学特論 (がん看護援助論)		4	60		4		
		がん看護学特論 (小児がん看護)		2	30		2		
		がん看護学演習 (化学療法)		2	60		2		
		がん看護学演習 (ターミナルケア)		2	60		2		
		がん看護学演習 (リハビリテーション看護)		2	60		2		
	がん看護学実習		6	270				6	
	健康生活支援看護学	小児看護学特論 (小児看護学の対象論)		2	30	2			
		小児看護学特論 (小児保健医療)		2	30	2			
		小児看護学演習 (健康障害看護演習)		2	60		2		
		成人老年看護学特論 (慢性疾患の対象論)		2	30	2			
		成人老年看護学特論 (自殺予防とメンタルヘルス)		2	30		2		
		成人老年看護学演習 (社会資源活用・ケアシステム開発演習)		2	60		2		
		地域看護学特論 (地域・国際看護ケアシステム論)		2	30	2			
		地域看護学特論 (地域診断と支援技術)		2	30	2			
		地域看護学特論 (国際保健看護論)		2	30		2		
	地域看護学演習 (ヘルスプロモーション・コミュニティ アズ パートナー演習)		2	60		2			

区分	分野	授業科目	単位数		時間数	履修年次及び単位数			
			必修	選択		1年次		2年次	
						前	後	前	後
専門科目	助産学	助産学特論（助産概説・生命倫理・助産倫理）		2	30	2			
		助産学特論（妊産婦・新生児・乳幼児の病態と生理）		4	60	4			
		助産学特論（妊産婦・新生児・乳幼児の助産診断・技術）		4	60	4			
		助産学特論（性科学・遺伝・女性の生涯発達）		4	60			4	
		助産学演習（フィジカルアセスメント・助産技術演習）		4	120	4			
		助産学演習（助産診断・技術・地域母子保健看護演習）		4	120	4			
		国際助産学特論		2	30			2	
		助産学経営・戦略論（助産管理・助産マネジメント）		1	15			1	
		助産学教育方法		1	15			1	
	助産学実習		9	405		9			
	研究	課題研究		2	60			2	
		研究計画書作成	2		30		2		
		特別研究		6	180			6	
共通科目	看護研究法	2		30	2				
	看護管理・政策論		2	30			2		
	看護理論		2	30		2			
	看護教育論		2	30	2				
	看護倫理		1	15	1				
	異文化看護論		1	15			1		
	英文講読		1	30		1			
	臨床診断学		2	30	2				
	病態生理学		2	30		2			
	臨床薬理学		2	30			2		

保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部を改正する省令（平成23年文部科学省・厚生労働省令第1号）施行に伴う教育課程の変更に伴い、平成24年度入学生より助産師教育カリキュラム（上記授業科目のうち助産師国家試験の受験に必要な単位を取得する授業科目）に一部変更があります。

3 研究指導教員一覧

基盤看護学分野

専攻領域	担当教員	研究テーマ
感染制御学	村井貞子 連絡先 018-829-4315 murai@rcakita.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・細菌感染症の疫学 ・病院感染の疫学と予防方法に関する研究 ・在宅感染の実際と予防に関する研究
食看護学	尾岸恵三子 連絡先 018-829-4304 ogishi@rcakita.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・“食は人をつくる”という考えにより、「食」の援助を通し人々の生活の質(QOL)の向上に寄与する食看護学の研究

がん看護学分野

専攻領域	担当教員	研究テーマ
がん看護学	渋谷優子 連絡先 018-829-4331 m-shibuya@rcakita.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・がん専門看護師の実習方法に関する研究 ・婦人科がん患者の治療(手術療法、化学療法、放射線療法)に伴う有害事象に対する心理的、社会的影響の評価に関する研究

健康生活支援看護学分野

専攻領域	担当教員	研究テーマ
小児看護学	森美智子 連絡先 018-829-3010 mori@rcakita.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がん患児・家族のケアに関する研究 ・発達心理・学習心理からみた発達看護領域の研究 ・予後に関わる小児急性期疾患看護の研究
	奥山朝子 連絡先 018-829-3017 okuyama@rcakita.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がん経験者の学校生活におけるサポート体制に関する研究 ・小児がん患児と家族の看護に関する研究 ・障がいのある小児の家族の受容とサポートの研究

専攻領域	担当教員	研究テーマ
成人老年 看護学	岡部 聡子 連絡先 (日本赤十字秋田看護大学学務課) 018-829-3983 gakumu@rcakita.ac.jp	・慢性疾患や障害を持つ成人について、特にその家族へのケアと QOL の向上に関する研究
	藤井 博英 連絡先 018-829-4313 fujii@rcakita.ac.jp	・自死遺族のグリーフケアについての研究 ・精神科訪問看護のアウトカム尺度の開発についての研究 ・シャーマニズム文化と精神文化についての研究
地域看護学	夏原 和美 連絡先 018-829-4356 natsuhara@rcakita.ac.jp	・人類生態学、特に栄養生態学の研究 ・人間が環境へ適応する際の多様性・変動性を観察によって明らかにし、多様性の各側面の相互関係性を解明することを目指した研究 ・特に、近代化によって変化していく食にまつわる環境と、その変化が人間の健康にどのように影響を与えているかに焦点をあてた研究（主な調査地域はアジア・オセアニア）

助産学分野

専攻領域	担当教員	研究テーマ
助産学	加藤 尚美 連絡先 018-829-4337 kato@rcakita.ac.jp	・助産ケアの質に関する研究 ・プロフェッショナル人材育成とマネジメント・キャリア形成に関する研究 ・産後早期退院に関する研究 ・潜在助産師の就業に関する研究 ・助産ケアの提供システムに関する研究

担当教員と連絡が取りにくい場合は、次へご連絡ください。

日本赤十字秋田看護大学 学務課教務係
TEL 018-829-3983 E-mail : gakumu@rcakita.ac.jp

国の教育ローン

政府系金融機関である日本政策金融公庫 国民生活事業が取扱っている長期、固定金利でご利用いただける教育ローンです。

資 格	<p>ご融資の対象となる学校に入学・在学される方の保護者で、次の1または2の方。</p> <p>1 世帯の年間収入(所得)が次表の金額以内の方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>子供の人数</th> <th>給与所得者(事業所得者)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人</td> <td>790万円(590万円)</td> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>890万円(680万円)</td> </tr> <tr> <td>3人</td> <td>990万円(770万円)</td> </tr> <tr> <td>4人</td> <td>1,090万円(860万円)</td> </tr> <tr> <td>5人</td> <td>1,190万円(960万円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)「子供の人数」とは、お申しいただく方が扶養しているお子さまの人数をいいます。年齢、就学の有無を問いません。「6人以上」の場合は、コールセンターへお問い合わせください。</p> <p>世帯の年間収入(所得)が990万円(770万円)以内であって、次の特例要件のいずれかに該当する方【特例要件】</p> <p>(1) 勤続(営業)年数が3年未満 (2) 居住年数が1年未満 (3) 返済負担率(借入申込人の(借入金年間返済額/年間収入(所得)))が30%超 (4) 借入申込人またはその配偶者が単身赴任 (5) ご親族などに要介護(要支援)認定を受けている方がおり、その介護に関する費用を負担 (6) ご親族などに高額療養費制度または難病患者等に対する公的医療助成制度を利用している方がおり、その療養に関する費用を負担</p> <p>世帯の年間収入(所得)には、世帯主のほか、配偶者等の収入(所得)も含まれます。 今年の世帯の年間収入(所得)が上記の金額以内となる見込のある方はご利用いただける場合があります。 ご親族などでもご利用いただける場合があります。 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金と重複してご利用いただけます。 審査の結果、お客さまのご希望に添えないことがあります。</p>	子供の人数	給与所得者(事業所得者)	1人	790万円(590万円)	2人	890万円(680万円)	3人	990万円(770万円)	4人	1,090万円(860万円)	5人	1,190万円(960万円)
子供の人数	給与所得者(事業所得者)												
1人	790万円(590万円)												
2人	890万円(680万円)												
3人	990万円(770万円)												
4人	1,090万円(860万円)												
5人	1,190万円(960万円)												
金 額	学生1人につき300万円以内												
使 途	<p>学校納付金(入学金、授業料、施設設備費など) 受験にかかった費用(受験料、受験時の交通費・宿泊費など) 住居にかかる費用(アパート・マンションの敷金・家賃など) 教科書代、教材費、パソコン購入費、通学費用、修学旅行費用、学生の国民年金保険料など 今後1年間に必要となる費用がご融資の対象となります。 入学資金については、入学される月の翌月末までのお取り扱いとなります。</p>												
返済期間	15年以内(交通遺児家庭または母子家庭の方は18年以内)												
元金据置期間	<p>在学期間内 在学期間内は利息のみのご返済とすることができます。 元金据置期間はご返済期間に含まれます。</p>												
利 率	<p>年2.85%(平成23年5月23日現在) 母子家庭の方は年2.45% 利率は金融情勢によって変動しますので、お借入金利(固定)は、記載されている利率とは異なる場合があります。</p>												
保 証	(公財)教育資金融資保証基金(連帯保証人による保証も可能)												

教育ローンコールセンター0570-008656 ハロコール

営業時間 月～金 9:00～21:00

土曜日 9:00～17:00

日曜日、祝日、年末年始(12月31日～1月3日)はご利用いただけません。

サービス内容 ・「国の教育ローン」の制度内容や申込み手続きなどに関するご相談

・借入申込書、パンフレットなどのご請求の受付

全国から市内通話料金でご利用いただけます。

ご利用いただけない場合(公衆電話、PHS、CATV電話など)は、

03(5321)8656までおかけ直してください。

学校法人日本赤十字学園 プライバシーポリシー

学校法人日本赤十字学園と本学園において設置する各大学・短期大学（以下「本学園」という。）は、業務上知り得た全ての個人情報を、個人の人格を尊重する赤十字の理念のもと、「個人情報の保護に関する基本方針」（平成16年4月2日付閣議決定）等に則り、次のとおりプライバシーポリシーを定め、遵守してまいります。

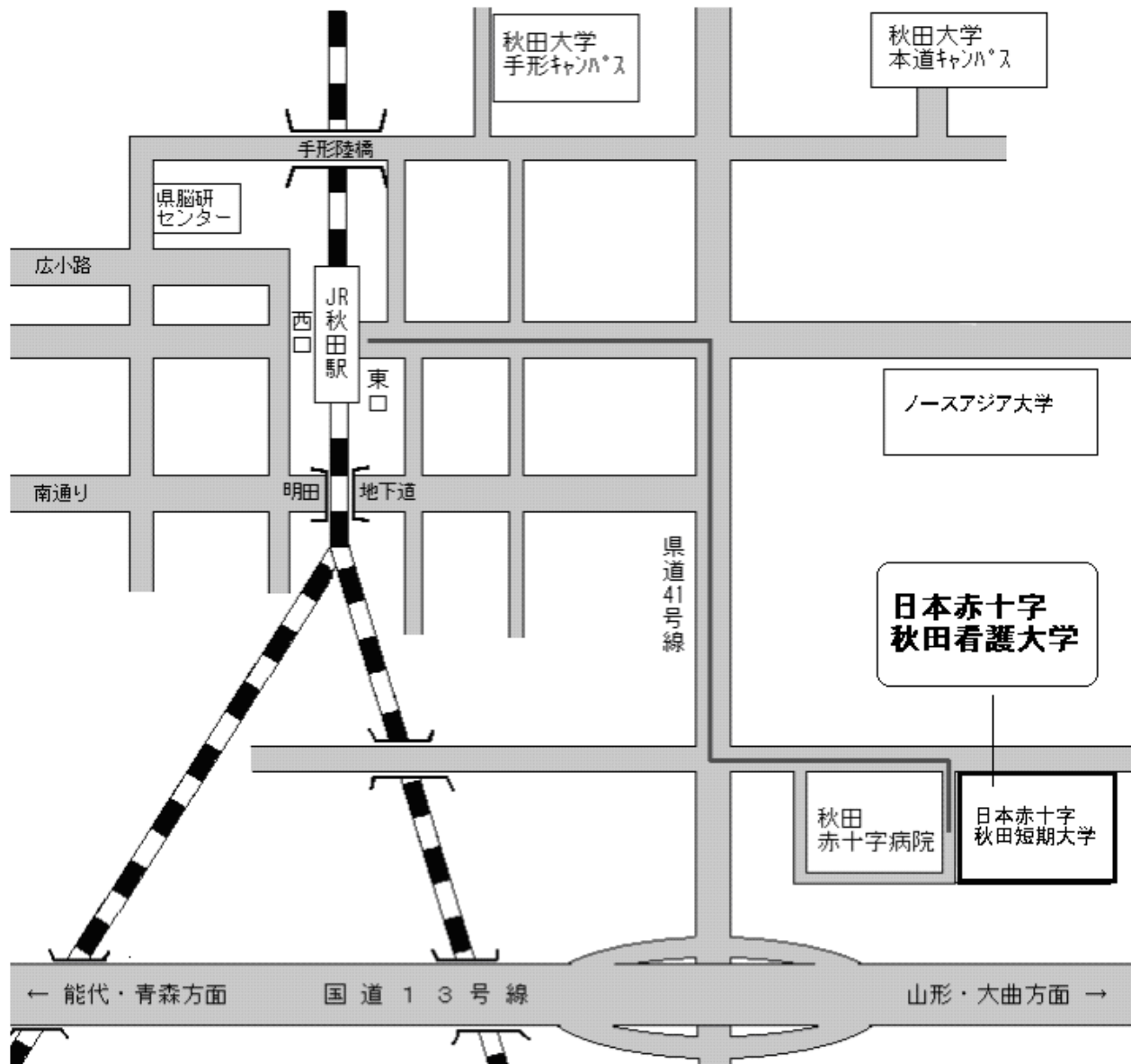
1. 本学園は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令及び「学校法人日本赤十字学園の保有する個人情報保護規程（以下「学园内規程」という。）」を遵守いたします。
2. 本学園は、次に記載する場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に個人情報を提供することはありません。
 - 1) 法令に定めがあるとき。（国の機関又は地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要があるあって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき等）
 - 2) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要な場合であって、本人の同意を得ることが困難である場合。
3. 本学園は、必要に応じて個人情報を収集する際には、その利用目的を明らかにし、収集した個人情報の使用範囲を目的達成のために必要な範囲に限定し、適切に取り扱うように努めます。（例えば入学志願の際、入学手続きの際及び入学後に提出いただく個人情報の利用目的は、別紙のように限定いたします。）
4. 本学園は、個人情報の保護、運用について、厳重な管理を実施いたします。
 - 1) 保有する個人情報について、不正アクセス、漏洩、滅失又は毀損等の管理上のリスクが存在することを常に強く意識し、これらに対する人的、物的安全管理措置を講じます。
 - 2) 業務遂行上、やむを得ず個人情報を取り扱う業務を外部に委託するときは、委託業者との間で覚書き等を締結し、委託先を適切に管理します。
5. 本学園は、本方針や学园内規程等の運用について、法令等の改正、社会情勢の変化等に応じて継続的に改善してまいります。
6. 本学園は、個人情報保護の意識の向上を図るために、教育啓発活動を推進します。
7. 本学園は、本人又は本人から委任を受けた代理人から、本人自身の個人情報の開示、訂正、追加、削除の申し出を受けた場合は、学园内規程等に基づき、誠実に対応します。

別紙

入学志願の際、入学手続きの際及び入学後に提出いただく個人情報の利用目的

1. 学籍管理及び学籍の異動管理を行うため。
2. 学籍・異動、履修成績、証明書、調査、学生証等の帳票作成及び集計、また本人への送付・連絡のため。
3. 履修成績表の保証人への送付のため。
4. 就職関係情報の管理のため。
5. 学費情報の管理、帳票作成及び送付・連絡のため。
6. 図書館利用資格の確認及び利用者サービス実施のため。
7. 学内情報ネットワーク利用資格の確認及び利用者サービス実施のため。
8. 奨学金業務に関連する資料作成、また本人への連絡のため。
9. 学生の健康管理に関する資料を作成・保管するため。
10. 大学・短期大学からの広報誌（紙）の送付のため。
11. 納付金、募金依頼関連書類の送付のため。
12. 卒業生データを作成・管理するため。
13. 保護者の会、同窓会等（学生生活の支援及び会員相互の親睦と福祉を図るとともに、大学の発展に寄与することを目的として設立されたもの）、大学と密接な関係を持つ団体に連絡先情報を提供するため。
14. その他、大学・短期大学からの連絡のため。

本学周辺の案内図



日本赤十字秋田看護大学

The Japanese Red Cross Akita College of Nursing

〒010-1493

秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢17番地3

TEL 018-829-3759 (入試広報直通)

(窓口取扱時間：平日 8:30~16:30)

メール nyushi@rcakita.ac.jp

URL <http://www.rcakita.ac.jp/>